



ともに伸びる馬室っ子 ～あせがきらきら馬室っ子～

令和5年6月1日

6月号

鴻巣市立馬室小学校
電話 541-0578

馬室小だより



祖母の教え

～ 今でも心のどこかに ～

校長 齋地 満

先日、無事に運動会が行われました。久しぶりに多くの方々にご参観していただき、子どもたちも喜んでいました。今後も種目内容を検討し、午前中の開催としていきます。保護者の皆様におかれましては、後片付けまでご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、6月は水の無かった田んぼに水を注ぎ入れる頃であることから、水無月（みなづき）とも言われます。この時期、田植えの終わった田んぼに、すがすがしい青空が映ると、まるで空の中にいるかのような幻想的で壮大な景色が広がります。

その景色を見ていると、田舎の祖母を思い出します。祖母とは、遠く離れて住んでおり、一年のうち数日しか会う機会がありませんでした。私が小学校高学年の時に帰省した時のことです。散歩の途中で、ふと伝えられた言葉があります。それは、『3』という数字を大事にしてごらん。何かを成し遂げたいと思ったら、3日がんばりなさい。3日がんばれば、3か月がんばれる。3か月がんばれば、3年がんばれる。3年がんばれば、自分のものになる。』というものでした。祖母は続けて、「1回だけでできて、できたとは言わないんだよ。連続で3回できて、初めてできたことになるんだよ。」ということも教えてくれました。祖母の言葉は私の心に深く残り、その後は何事も3回連続できるまで、練習するようになりました。

上村花菜さんの「トイレの神様」という曲にも、おばあちゃんに「トイレにはきれいな女神さまがいるので、毎日キレイにしていたら、女神様みたいにべっぴんさんになれる」と言われ、トイレをピカピカにし始めた、というくだりがあります。

みなさんにもきっと、心に残る言葉があると思います。それをお子さんに伝えてみてはどうでしょう。日ごろから心掛けていることや心に残っているエピソードなどでもいいと思います。その言葉がお子さんの心に残り、人生の節目で道標となるかもしれません。校長講話もそのように工夫していきたいと考えています。



★ お願いとお知らせ ★

- 登校時にやむを得ず、車でお子さんを送ったり忘れものを届けたりする場合は、児童の登校と重ならないよう8時以降にお願いします。安全面からご協力をお願いします。
- 下校を含め、お迎えの際は対面での引き渡しをお願いしております。お手数ですが、教室や昇降口までお越しくさるようお願いいたします。
- 定期的にHPの更新を行っています。「お知らせ」では、埼玉県や鴻巣市からの連絡等を、学校ブログでは、子どもたちの活動の様子をお伝えしています。また、献立表も見るようにしたので、ご覧ください。